

平成31年4月定例会

# 教育委員会定例会会議録

書記 中村 顕介

書記 星井 絵名

## 塩竈市教育委員会定例会会議録

◆日時 平成31年4月26日(金) 午後3時45分～午後4時35分

◆場所 壺番館3階 共用会議室

### ◆出席委員

|       |     |     |          |        |
|-------|-----|-----|----------|--------|
| 教 育 長 | 高 橋 | 睦 麿 | 教育長職務代理者 | 柴田 仁市郎 |
| 委 員   | 太 田 | 忍   | 委 員      | 池 野 暢子 |
| 委 員   | 佐 浦 | 弘 一 |          |        |

### ◆事務局

|           |     |     |            |     |     |
|-----------|-----|-----|------------|-----|-----|
| 教 育 部 長   | 阿 部 | 光 浩 | 教 育 部 次 長  | 本 田 | 幹 枝 |
| 教育総務課長    | 佐 藤 | 聡 志 | 学校教育課長     | 遠 山 | 勝 治 |
| 生涯学習課長    | 伊 藤 | 英 史 | 市民交流センター館長 | 井 上 | 靖 浩 |
| 教育総務課総務係長 | 中 村 | 顕 介 | 教育総務課主査    | 星 井 | 絵 名 |

### ◆定例会次第

- 1 開会
- 2 前回会議録承認
- 3 会議録署名委員の指名
- 4 教育長報告
  - ① 第1回管内教育委員会教育長会議について
  - ② 本市の教育活動の状況について
- 5 教育部長報告
  - ① 塩竈市震災復興計画における復興事業の進捗状況
- 6 専決処分報告
  - ① 塩竈市いじめ問題対策連絡協議会の委員の委嘱について
  - ② 塩竈市いじめ防止等対策委員会の委員の委嘱について
  - ③ 塩竈市青少年相談センター運営協議会の委員の委嘱について
- 7 その他報告
  - ① 平成31(令和元)年度塩竈市校長会役職について
  - ② 学力向上の取組状況及び不登校対策等について
  - ③ 平成30年度第2回スポーツ推進審議会の会議について
- 8 閉会

1 開会 午後 3 時 45 分

2 前回会議録委員の署名

佐浦委員から報告、承認

3 会議録署名委員の指名

柴田委員と池野委員を指名

4 教育長報告

(1) 高橋教育長から、以下のことについて報告

- ① 第 1 回管内教育委員会教育長会議について
- ② 本市の教育活動の状況について

[主な質疑]

なし

5 教育部長報告

(1) 阿部教育部長から、以下のことについて報告

- ① 塩竈市震災復興計画における復興事業の進捗状況

[主な質疑]

なし

6 専決処分報告（資料 3）

(1) 遠山学校教育課長から、以下のことについて報告

- ① 塩竈市いじめ問題対策連絡協議会の委員の委嘱について
- ② 塩竈市いじめ防止等対策委員会の委員の委嘱について
- ③ 塩竈市青少年相談センター運営協議会の委員の委嘱について

[主な質疑]

・柴田委員

新任の方はどなたか。

- ・遠山学校教育課長

いじめ問題対策連絡協議会については、吉田委員、阿部委員、佐藤晴子委員、佐藤英委員が新任である。いじめ防止等対策委員会では、鈴木委員、實石委員、亀山委員が新任となる。

## 7 その他報告

(1) 遠山学校教育課長から、以下のことについて報告

- ① 平成31（令和元）年度塩竈市校長会役職について
- ② 学力向上の取組状況及び不登校対策等について

(2) 伊藤生涯学習課長から、以下のことについて報告

- ③ 平成30年度第2回スポーツ推進審議会の会議について

[主な質疑]

- ・太田委員

部活動について、国基準の休ませる日数があったと思うが、各学校に定着したか。

- ・遠山学校教育課長

週二日、年間105日は休ませるという基準である、昨年度も国の基準をクリアしている。

- ・太田委員

外部指導者への報酬はどのようになっているのか。

- ・伊藤生涯学習課長

昨年度までは、県から報酬が出ていた。今年から各学校1人までとなった。ほかにはボランティアという扱いになった。各位に説明したところ、どなたも快く引き受けていただいた。市より保険については財源を確保した。

- ・高橋教育長

おととしから、文科省より3年のモデル指定を受け研究を行い、初年度は1人あたり60万円で4人派遣されていた。2年目に文科省が方針を転換し、1/3は文科省、1/3は県、1/3は市負担と提案されたため、一旦はモデル指定から降りることも検討したが、昨年度の報酬は県より支出されることとなり、継続した。今年度分の財源は確保できない旨は、昨年度から理解をしており、本年度を迎えている。文科省としては、引率もでき、教師がいなくても部活動が運営できる指導員の数をとにかく増やしてほしい、補助金は出すという方針だが、市町村分の予算化は困難が大きい。指導者に渡す謝金額も十分とは言えない。予算化については手を挙げていきたいところではある

が、県、国の補助はあまり期待できないと感じている。また、都市部に比べ、地域の中から指導者を見つけることなど、部活動指導者の導入に困難を感じている市町村は多いようである。

## 8 閉会 午後 4 時 35 分

《会議録署名委員》

1 番委員

(柴田委員)

3 番委員

(池野委員)